



「海辺のふれあい祭り」盛大に開催！

● 地域とともに

ＪＡ川尻支店は２月８日、まちづくり委員会など地域の方に協賛いただき「海辺のふれあい祭り」を行ないました。

産直市には新鮮な野菜や柑橘が並び、イベントでは川尻支店ふれあい委員会による原木シイタケの菌打ち実演販売や、地元有志が「うどん」、老人会は「シシ鍋」などを販売。ＪＡ青壮年連盟川尻支部の盟友が「杵つき餅入りぜんざい」をふるまい、祭に花を添えました。



芸南地域 おまつり特集



「柑橘まつり」盛大に開催！

● 柑橘シーズンのラストを飾る

ＪＡふれあい市安芸津店は２月１５日、１６日で「柑橘まつり」を行ないました。

柑橘シーズンのラストを飾る「せとか」「はっさく」「しらぬい」や、採れたて新鮮野菜などが店頭に並びました。

両日とも天気に恵まれ、旬の柑橘や新鮮野菜を求めて大勢の人が訪れ賑わいました。



「安浦ふれあい祭り」盛大に開催！

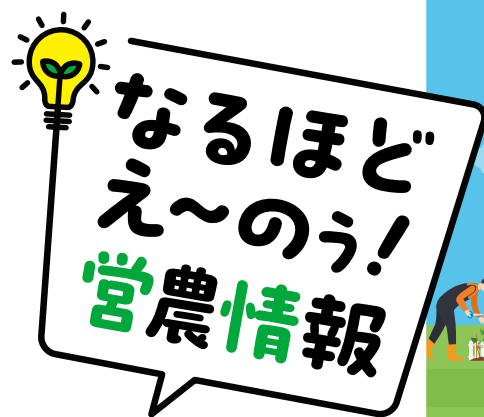
● 地域に感謝の気持ちを込めて

ＪＡ安浦支店は３月１５日に「安浦ふれあい祭り」を行ないました。

当日は、啓蟄が過ぎたとはいえ寒い一日でしたが、青空市では旬の野菜や柑橘をお目当てに多くの人が訪れ賑わいました。

安浦支店ふれあい委員会は地元の食材で調理した「豚汁」をふるまい、来場者から“おいしい、身体が温まる”と大好評でした。





水稲

4月

田植えに備え、いつでも水張りができるように最後の耕起を行ないましょう。「早生いっね」「中生いっね」などの一発型の省力肥料を施肥してから（均一に施肥をする）耕起すると水張り後に行なう必要がなくなり作業が軽減されます。

また、倒伏防止・品質向上のため、けい酸加里を施用しましょう。元肥の場合は10a当たり30〜40kgを使用してください。

種子の管理

ばか苗病・いもち病・もみ枯細菌病・イネシンガレセンチュウを予防するために必ず種子消毒を行ないましょう。

種子消毒前には必ず塩水選を行ない、不良もみを除いておきましょう。テクリードCフロアブル200倍液とスミチオン乳剤1,000倍液を24時間混用浸漬後、半日程度陰干し、5〜6日浸種して、芽出しを行ないましょう。（※苗づくりについては水稲栽培ごよみを参照してください。）

水稲 問 安浦店

TEL 0823-8412049

担当 桑原 伸明

野菜

4月

馬鈴しょ

初期生育を促進するために、追肥を行ないましょう。発芽がそろった時期になったら、馬鈴しょ化成S30を10a当たり60kg施用し中耕しましょう。その後、肥大促進といものの露出を少なくするため、土寄せをし、畝をしつかりと立てましょう。病害虫防除ではアブラムシ・疫病の初期防除が大切です。発芽揃い後に早めの防除を行ないましょう。特に種子馬鈴しょはアブラムシが媒介するウイルスを入れないため、防除の徹底をお願いします。

病害虫防除例（生育初期〜中期）

アブラムシ・ヨトウムシ

モスピラン顆粒水溶剤（劇） 2,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

えき病（初回防除として）ジマンダイセン水和剤 5000倍液（収穫7日前まで、使用回数10回以内）

※えき病対策は成育前半の着蕾期（つぼみのつく時期）までに早期予防をする事で最も効果が得られます。2週間前後で早めに2回目の防除を行なう事を心がけましょう。

えき病（2回目防除として）

プロボーズ顆粒水和剤 1,000倍液（収穫7日前まで、使用回数5回以内）

春野菜の定植

購入したポット苗は輸送等での根痛みや、植え付ける環境に慣れないことがあります。すぐに定植せず、2〜3日自宅などで慣らし（順化といいます）てから畑に定植しましょう。

自宅で苗づくりをする場合は、まだ気温の低い日もありますので、定植一週間前まではトンネル・ビニールキャップ・マルチなどを利用して保温し、根の発達を促し、活着しやすい苗をつくりましょう。（晴天の日は高温になるので、状況に応じて換気を行ないましょう。）

また、害虫対策として、ダントツ粒剤、ジェイエース粒剤、ベストガード粒剤などを定植時に植え穴に処理します。農薬の効き目が弱くなることがあるので、前作の定植時に使ったものと異なる粒剤を使いましょう。（使用する前に、作物の登録は必ず確認をしてください。）

＜生産工程管理日誌は必ず提出しましょう！＞

生産工程管理日誌は次期の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課

TEL 0846-14513360

担当 久保 勝義

果樹

5月

かんきつ

みかん・中晩柑の外観品位を損なう

病虫害の発生時期となります。また肥効の良い夏肥を施す時期でもありません。開花期防除・夏肥の施用を徹底しましょう。

みかんは全体的に成りが多い年回りですが、貯蔵養分の低下により異常生理落果の恐れがあるので、葉面散布・かん水をしっかりと行ないましょう。

かん水（特に重要）

5・6月でも乾燥が続けば生理落果を防ぐため、かん水を行なう必要があります。

開花期防除（近年、開花期が早くなっているため早めの対策が必要です。）

開花期の傷は果実肥大とともに拡大し、成比率低下の大きな原因になります。開花期の病虫害の被害によるものが毎年多いので、防除を徹底して外観のきれいな果実生産を実施しましょう。

①開花初期：開花の早い品種（極早生・早生・いしじ）や園地では、コアオハナムグリやアザミウマ等の害虫の加害傷によって、品質低下をまねきます。オリオン水和剤40（劇）1,000倍液を散布しましょう。

②五〜八分咲期：灰色かび病と害虫対策でパレード15フロアブル3,000倍液とエクシレルSE5,000倍液を混用して散布しましょう。

③落弁期：灰色かび病と黒点病対策でストロビドドライフロアブル3,000倍液とエムダイファア水和剤600倍液に、近年はサビダニが非常に発生しているため、ダニ対策としてアグリメック乳剤（劇）2,000倍液を混用して散布しましょう。

(※農薬使用の際には必ずラベルを確認)

④固着性展着剤のアビオンE1,000倍を混用し、付着性及び耐雨を高めましょう。

葉面散布

早めの緑化を促して早く収穫するため、開花期防除に併せ、メリット青300倍液又は、尿素600倍液と葉面マグ600倍液を混用散布しましょう。葉面マグの代わりに苦土と鉄分を同時に補給できるマグミーフ600倍を混用散布するとより効果的です。

みかんの芽かぎ、開花後の弱剪定

今年着花量が少ないと予想される園(樹)では、芽と花の養分競合による生理落果を防ぐため、一箇所から複数本出ている新梢を減らす芽かぎ処理、着花枝に被さった新梢や新葉の多い枝・徒長枝を間引く弱剪定を行ないましょう。

中晩柑類のかいよう病の防除

中晩柑類では、前年かいよう病が多発した園に関しては、前項の開花期の防除の他に、次の薬剤散布が必要です。特に若木では、発生しやすい状況にあります。

①5月上旬…コサイド3000
2,000倍液にクレフノン200倍液を混用して散布しましょう。

夏肥の施用

年間の施肥時期の中で5月下旬の夏肥が最も施肥効率が良く効果的です。管理指針を参考に、品種ごとに

確実に施用しましょう。

今年植え付けた苗木の管理

①芽かぎ…下部7〜8から出る芽は全てかきとり、他は配置良く5本の新芽だけ残し他の芽はかきとります。
②施肥…植え付け1ヶ月後から柑橘の肥料を1ヶ月おきに40グラム程度(約1握り)施用しましょう。
③葉面散布…メリット青300倍液又は、尿素600倍液を7〜10日おきに散布しましょう。併せて葉面マグ600倍液の混用散布で春芽の緑化促進を図りましょう。

びわ

かん水

袋掛後、果実肥大期となり果実品質を決める重要な時期となりますので、雨が少なく乾燥が続くようであれば、10日間隔で10mm程度のかん水を実施しましょう。

いちじく

芽かぎ

樹冠内が込み合い日陰になるのを防ぐとともに、果実の生育促進・高品質果実生産のために行ないます。適期は新しい芽の長さが5cm程度、展葉3枚程度になったら行ないます。その際、外芽や横芽を中心に残すようにして、上向きの芽はかきとります。逆に樹勢の弱い樹については、上向きの芽を残します。

病害虫防除

そうか病

そうか病は発育初期ほど感染しやすい、5月に降雨が多いと発病が多くなります。また2次感染していくので、

4月に定期防除していない園ではトッジンM水和剤1,500倍液で早急に防除を行ないましょう。

かん水

発育期の土壌の乾燥は生育不良の原因となります。乾燥が続く場合は5〜7日間隔で15〜20mm程度のかん水を実施しましょう。

農薬使用の注意

- ・使用者自身の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・周辺住民、周辺環境への安全を確保するため、周辺住民や農家に配慮し、掲示板などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・対象作物の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従い、決められた使用量や用法を守りましょう。
- ・消費者の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを守れば残留量が基準値を超えることはありません。作物名には間違いやすいものがありますので特に注意して下さい。

果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488

担当 JA広島果実連(株)

駐在技術員 栗木 富生

2025年4月 苗販売情報



128穴セルトレイ



(商品例) キャベツ苗

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。

数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂き、ぜひご利用ください。

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	初秋	4月中旬～	6月下旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人の豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



4月の
おすすめ

春本番☆朝晩はまだ冷えますが、日中はずいぶん暖かくなりましたね☆
寒暖の差が激しい時期なので旬の食材をとって元気に過ごしましょう！
ふれあい市では「春」ならではの食材をそろえて、みなさまのお越しをお待ちしております。

山菜類もたくさん
入荷しています



たけのこ



ふき



わらび



かんきつ

など店頭に並びます

ナス



ピーマン



そのほか夏野菜苗も
取り揃えています



トマト



きゅうり

など

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店



※写真はイメージです。